

平成25年政策評価結果報告書

基本目標	被害者等に対する支援施策の推進
施策名	被害者等の心情に配慮した各種支援の推進
施策目標	犯罪被害者等の心情に配慮し、関係機関・団体等と連携した総合的な支援活動の推進
実績（成果）	<p>1 きめ細かな被害者支援の推進</p> <p>公益社団法人千葉犯罪被害者支援センター（以下「犯罪被害者支援センター」という。）を始めとした関係機関・団体と緊密な連携を図り、被害者等に対する事件発生直後の初期的支援、カウンセリング、裁判所や病院への付添い、診断書料や性犯罪被害者に対する緊急避妊の費用等の公費負担制度の活用など、被害者のニーズに添ったきめ細かな支援活動を推進しました。</p> <p>2 広報啓発活動の推進</p> <p>犯罪被害者支援センターや関係機関・団体と連携して、積極的な被害者支援に関する広報啓発活動を推進しました。</p>
推進結果	<p>1 被害者支援施策の迅速・的確な運用</p> <p>(1) 事件発生直後から各警察署の被害者支援要員を運用し、殺人事件を始めとした凶悪事件や交通事故の被害者等に対して初期的支援を推進しました。</p> <p>(2) 身体犯被害者に対する診断書料、性犯罪被害者に対する緊急避妊措置料等の公費負担制度を的確に運用し、被害者等の経済的負担の軽減を図りました。</p> <p>(3) 千葉県警察犯罪被害カウンセラーチームを積極的に運用し、被害者等に対するカウンセリングを行い精神的ケアを推進しました。</p> <p>(4) 犯罪被害給付制度を適切に運用し、裁定手続きを迅速に進め、被害者の経済的負担の早期軽減を図りました。</p> <p>2 関係機関、民間被害者支援団体との連携強化</p> <p>(1) 千葉県公安委員会から「犯罪被害者等早期援助団体」として指定を受ける犯罪被害者支援センターと一層の連携強化を図り、被害者の同意に基づく被害者情報の提供や付添い支援の実施など、官民一体となった支援活動を推進しました。</p> <p>(2) 関係機関・団体により構成された「犯罪による被害者等に対する支援部会」や「警察署犯罪被害者支援連絡協議会」を開催し、大規模な事件・事故が発生した際には、各会員と警察が連携を図りながら被害者の支援を推進していくことを再確認しました。</p> <p>(3) 犯罪被害者週間（毎年11月25日～12月1日）にあわせ、11月を犯罪被害者支援活動に関する広報重点月間に指定し、犯罪被害者支援センターや「警察署犯罪被害者支援連絡協議会」会員、更には、社会参加活動の一環として参加した大学生等と協同し、県内主要駅や各種イベント会場等において、被害者支援に関する情報を盛り込んだリーフレット等を配布したほか、年間を通して、関係機関、団体の相談窓口を掲載したポスター、パ</p>

ンプレットを警察署等の窓口に掲出・備え付けることにより、広く県民に被害者支援の重要性を呼び掛ける広報啓発活動を推進しました。

3 被害者支援への理解と支援意識の高揚を図る施策の推進

(1) 中学校・高校・大学等において、犯罪被害者遺族等による講演会を開催し、犯罪被害者支援に対する理解の増進を図るとともに、犯罪の予防や規範意識の向上を図り、社会全体で被害者を支え、被害者も加害者も出さない街づくりの気運の醸成に努めました。

(2) 11月26日、千葉市民会館において、県、被害者支援センター共催による、犯罪被害者週間「千葉県民のつどい」を千葉県警察が後援し、広く県民に向けて犯罪被害に苦しむ被害者等の現状を理解してもらうとともに、社会全体で被害者等を支援する社会づくりの気運の醸成を図り、被害者支援意識の高揚に努めました。

【犯罪被害者遺族等による講演の実施状況】

実施日	実施場所	対象	
1月10日	松戸市立栗ヶ沢中学校	中学生	
1月15日	千葉県立銚子高校	高校生	
1月31日	交通事故被害者支援研究会	会員	
3月18日	千葉県立四街道高校	高校生	
4月25日	松戸東署犯罪被害者支援連絡協議会	会員	
6月26日	千葉中央署犯罪被害者支援連絡協議会	会員	
7月4日	東金市立東金北中学校	中学生	
7月10日	勝浦市立勝浦北中学校	中学生	
7月16日	千葉県立若松高校	高校生	
7月17日	千葉県立八千代西高校	高校生	
7月17日	千葉県立土気高校	高校生	
9月10日	拓殖大学紅陵高校	高校生	
10月3日	船橋市立船橋高校	高校生	
11月8日	千葉北署犯罪被害者支援連絡協議会	会員	
11月12日	日大習志野高校	高校生	
11月20日	船橋署犯罪被害者支援連絡協議会	会員	
11月30日	勝浦市立興津中学校	中学生	
12月6日	千葉南署犯罪被害者支援連絡協議会	会員	
12月12日	松戸署犯罪被害者支援連絡協議会	会員	
12月17日	千葉県立白井高校	高校生	
12月18日	秀明大学	大学生	
実施回数	21回	受講者総数	約6,800人

【犯罪被害給付制度の運用状況】

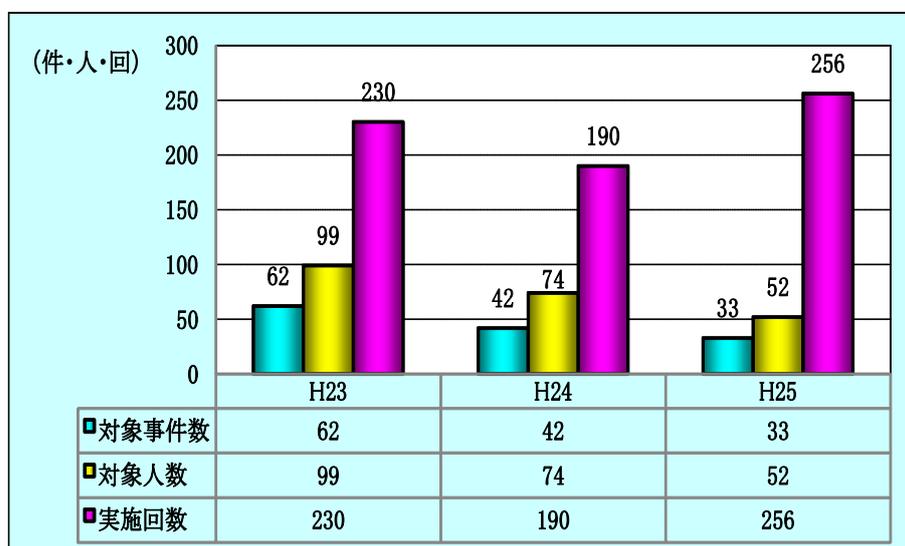
	H23	H24	H25
対象事件(件)	52	33	19
対象人数(人)	59	41	20
支給額(円)	137,162,482	92,659,960	40,762,873

実績(成果)指標

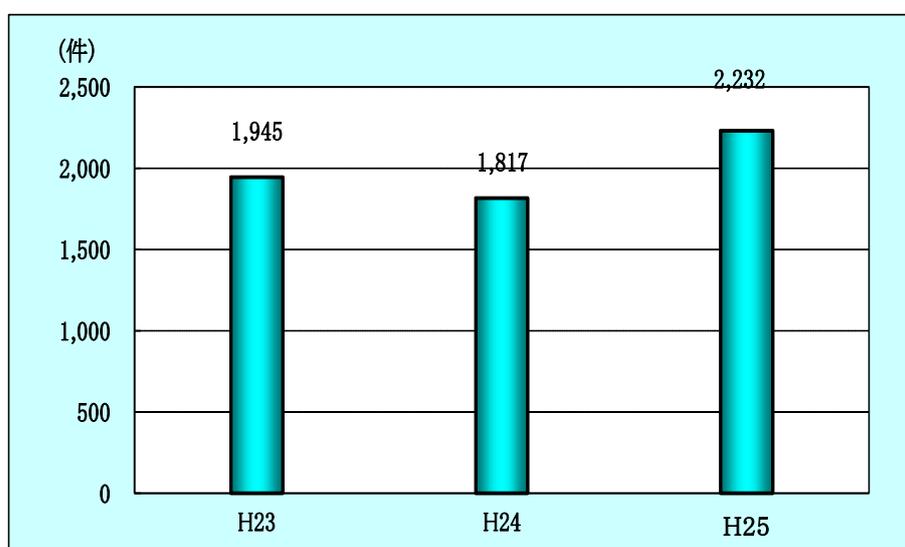
【公費負担制度の運用状況（単位：件）】

	H 2 3	H 2 4	H 2 5
検 案 料	4 3	4 5	7 4
検 案 書 料	5 2	6 1	8 3
診 断 書 料	1 6 8	1 2 6	1 7 8
初 診 料	9 3	5 9	1 5 0
緊急避妊措置料	3 8	3 2	4 0
性病検査料	2 3	2 2	2 3
人工妊娠中絶措置	0	1	1
精液等採取謝金	3 2	3 2	3 7
遺 体 搬 送	2 6	8	1 7
一 時 宿 泊	6	1 3	1 5
合 計	4 8 1	3 9 9	6 1 8

【犯罪被害カウンセラーの運用状況】

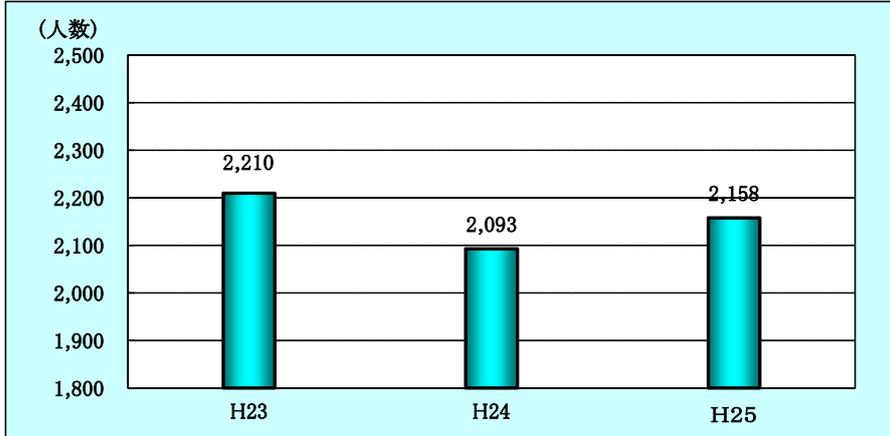


【公益社団法人千葉犯罪被害者支援センターの相談受理件数】



参 考 指 標

【警察職員に対する教養の実施状況（人数）】



施 策 の 効 果

関係機関・団体と連携した支援活動や被害者支援センター等の行う広報啓発活動により、社会全体で被害者を支えるという被害者支援に関する意識が高まっています。

今 後 の 課 題

精神的苦痛など、様々な苦悩を抱えている被害者の痛みを理解し、適切な対応がなされるよう、被害者支援に従事する職員の更なる知識、対応技能の向上を図るほか、各種支援制度の適切な運用を図っていく必要があります。

方 針

既に実施している各種支援施策の迅速的確な運用に努めるとともに、犯罪被害給付制度に基づく給付金の円滑な支給等、被害者等の心情に配慮したきめ細かな被害者支援を推進します。

施 策 主 管 課
政策評価担当課

警務部警務課
警務部警務課